

簡易草地更新機の実演会を実施しました

木曾地域では、繁殖和牛農家が多く自給飼料として牧草を作っている生産者も多くいます。草地造成後、雑草が増えると自給飼料の品質低下につながるため草地更新を検討する必要があります。しかしながら、完全更新は時間も費用もかかるためハードルが高いのが現状です。

9月7日に農業農村支援センター、長野県農政部農業技術課、園芸畜産課が中心となり、家畜改良センター長野支場に協力いただいて簡易更新機の実演会を南木曾町で行いました。

家畜改良センター長野支場の方に簡易草地更新機を運転してもらい、土を起かさずに牧草を播種する方法を参加者で見学しました。今回は、溝を切ってそこに牧草を播種していく作耕法という方法で実施し、完全更新よりも短時間で播種することができました。

実際にかかった費用や今回播種した牧草の品種の話等もあり、有意義な実演会になりました。

